

図画工作、美術

令和8年度 授業改善のポイント

- 1 造形的な視点を基に、感じ取ったことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動を題材の中に適切に位置付ける。
- 2 一人一人の見方や感じ方、発想や構想、表現の工夫に対し、題材を通して育成する資質・能力及び造形的な視点を踏まえて価値付けたり指導したりする。

表現及び鑑賞を相互に関連させた授業づくり

【指導事例】「行こうよ！ワイヤー○○ワールドへ！」(小学校第5学年) 本時4/6

絵や立体、工作に表す…「A表現」(1)イ、(2)イ、[共通事項](1)ア、イ

本時のねらい：針金を曲げたり組み合わせたりして、児童が自分の主題を基に発想した○○ワールドを表すことができる。

重要 「A表現」は、次の二つの側面から児童の資質・能力を育成します。それぞれの造形的な創造活動の過程の違いに留意することが大切です。

<絵や立体、工作に表す>

- ・おおよそのテーマや目的を基に作品をつくらうとすることから始まる。
- ・テーマや目的、用途や機能などに沿って自分の表現を追求していく。

<造形遊びをする>

- ・はじめから具体的な作品をつくることを目的としないが、結果的に作品になることもある。
- ・思い付くままに試みる自由さなどの遊びの特性を生かしたものである。



令和6年度版
指導事例参照

事前

主材料である針金をペンチなどを用いて適切な長さに切ったり、曲げたり、他の材料と併用したりするなど、児童が材料と十分に関わることで、材料の特性を知り、それをどのように作品に生かせるかについて発想を広げることができる時間を確保します。

相互鑑賞の展開例

☆鑑賞の視点を示すことは、児童が自分なりの解釈や問い掛けを通じて、作品と能動的に対話することにつながります。形や色などの造形的な視点のほかに、児童が発見した針金の加工方法を「技」として取り上げることで、全体だけでなく、部分にも着目するようになります。

★鑑賞の視点

- ・形
- ・色

みんなが見つけた技



ロケットに乗って冒険旅行ができるように、宇宙ワールドにしたよ。いろんなビー玉に針金を巻き付けて星のようにしたんだ。もっと宇宙で星が輝いているように見せたいな。

黄色いビー玉が満月みたい。4年生のときに理科で習った星座もつくってみたらどうかな。材料コーナーにアクリルビーズがあったよ。

やってみるね。オリオン座をつくらうかな。

わあっ！君の作品は「バネ技」をたくさん使っているね。何を表しているのか教えて。

私はウォーターワールドにしたの。この写真を見て。前の時間は、まっすぐな針金に「たばね技」を使ったよ。でも、もっと楽しくしたくて「バネ技」も使ってみたんだ。触ると揺れて、泳いでいるような感じがするの。

揺れると“さんご”みたいだね。僕も「バネ技」でロケットファイヤーを表してみたよ。

同じ「バネ技」でも、向きを変えて付けたのですね。

「技」を組み合わせても、面白いですね。

そうか。ファイヤーに「なみなみ技」も使ってみます。もっと迫力が出そうです。

ポイント1 表したいことや主題を互いに伝えた上で鑑賞活動を行うことにより、表現の意図などを感じ取りながら、見方や感じ方を深めることができます。

重要 児童自身が主題を発想することを大切に、自分の考えや活動を問い直しながら主題の表し方を考えることができるように、材料コーナーや試作コーナーなど、試行錯誤できる学習環境を整えることが重要です。

ICT タブレット端末で児童自身が写真や動画を撮影して蓄積することで、作品の意図や特徴などについて話し合ったり、自分の表し方の変化を振り返ったりする活動に生かすことができます。

ポイント2 児童が新しい気付きを得られるよう、教師が材料や表現方法などの観点をもって作品や活動を価値付けることが大切です。

重要 対象や事象の形や色などに着目するようになった児童は、生活や社会の中の形や色なども豊かに関わり、自分の世界を広げていくようになります。